

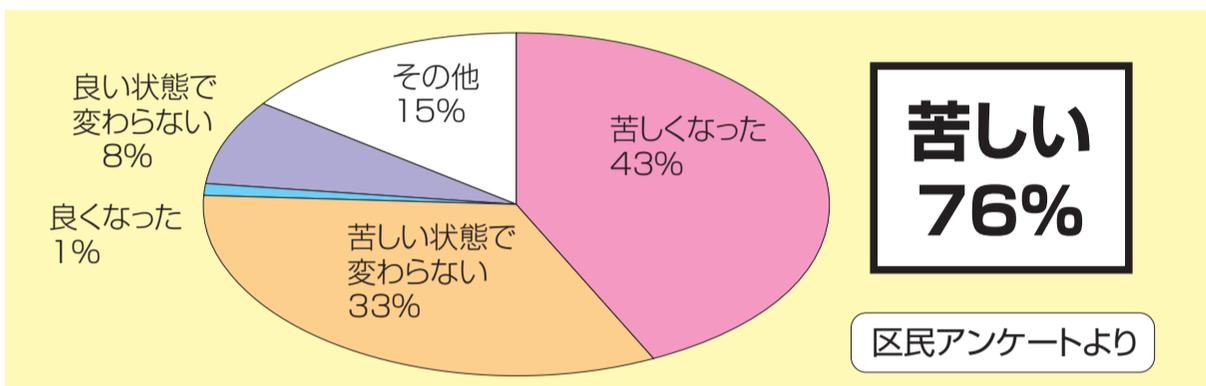
新しい年

住民の声と願いが届く区政へ くらしと防災、福祉と教育の充実で、希望ある渋谷区をめざします

「原発の再稼働反対・即時原発ゼロ」、消費税増税ストップ、憲法9条守れの世論が高まっています。党区議団は、国政の課題でもみなさんとの共同を広げ、国民が主人公の立場でがんばりぬきます。

昨年、日本共産党渋谷区議団が実施した区民アンケートでは、「前年より生活が苦しくなった」「苦しいままでかわらない」との回答が76%にもものぼり、深刻な訴えが多く寄せられました。しかし、区は、住民税、介護・医療保険料などを引き上げ、負担増を強いています。

いま求められているのは、区民のきびしい生活に心を寄せ、くらしを応援する区政の実現です。党区議団は、引き続き、区民の声と願いが届く区政、安心して住み続けられる福祉と防災のまち・渋谷をめざし全力をあげます。



2013年
日本共産党渋谷区議団



党区議団長・総務区民委員

トマ 孝二



党区議団幹事長・文教委員

すがの 茂



福祉保健委員長

いがらし 千代子



党区議団副幹事長・都市環境副委員長

しんぼ 久美子



文教委員長

牛尾 まさみ

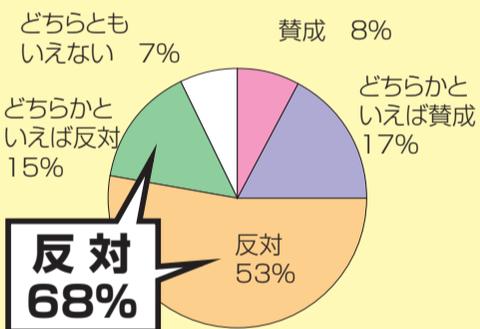


福祉保健委員

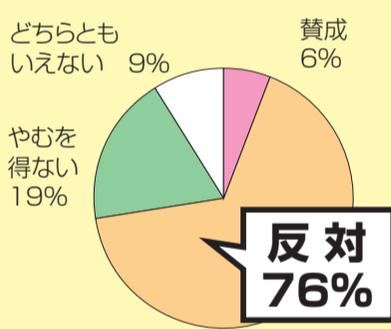
田中 まさや

「くらしと区政についてのアンケート」にご協力いただきありがとうございます。みなさんの要望をしっかりと受け止め、その実現に全力をつくします。

消費税増税について



原発再稼働について



483通のアンケートが寄せられました。自由記入欄には、多くの方から、くらしの問題をはじめ、消費税増税、原発問題、医療、福祉、防災、保育、教育などでたくさんのご意見・要望をいただきました。みなさんの切実な声を区政に反映させ、その実現のために全力をあげます。

効率化、安上がりで、子どもたちが犠牲に

区立保育園・幼稚園の廃園、 代々木小・山谷小学校の統廃合は認められません



財政削減・効率化を口実に子どもを犠牲にして、区立保育園、幼稚園を廃園にし、さらに、保護者や住民の声に耳を傾けず、山谷・代々木小学校の統廃合計画を強行しようとしています。

いま、保育園、幼稚園や小学校の保護者のみなさんが、存続を求める陳情、請願署名などにとりくみ、子どもたちを健やかに育て保育や教育環境を守るためにがんばっています。

「区民アンケート」にも、学校統廃合に対する見直しを求める意見が多く寄せられました。

いま区に求められているのは、保育園・幼稚園の存続について、まず父母の意見に真摯に耳を傾け、保護者、住民と一しょに学校づくりに取り組むべきではないでしょうか。“学校統廃合ありき”の結論を押し付けることは許されません。

学校統廃合を見直す声 (アンケートより)

- 母校の統廃合は反対ですが、それをすすめる手順についても(代々木小との関係)不満です。(30代・女性)
- 子ども達のことを一番に考えるべきです。統合することのメリットは経済、経費削減のためですか?教育にはお金をかけるべきです。(30代・女性)
- 代々木小と山谷小の子どもは宝。無理な統合してほしくない。代々木は地域の防災の拠点としても大事。(50代・女性)

日本共産党
渋谷区議団 **ニュース**

2013年 新年号
渋谷区宇田川町1-1 渋谷区役所内
☎3463-1038 FAX5458-4963

日本共産党渋谷区議団へのご意見・ご要望を、ぜひお寄せ下さい。
● ホームページ <http://jcp-shibuya.jp/>
● Eメール info@jcp-shibuya.jp